



高崎 正之 議員

学校運営に伴う 課題解消について

本年度より小・中学校運営五力年計画が始まります。主要課題は、部活動問題を含め、教職員の長時間勤務改善と多忙化解消に有ると思えますが、対策は。

教育長

現在、池田町として毎週水曜日をノー残業デーとし、夏休み長期休業期間中に閉校日を設けたりして改善に努めている。部活動に就いても、教職員の負担を軽減すべく週二日休み、土曜日・日曜日のどちらかは活動しない。又、外部指導員の活用も行っている。

本年度より中学校は、二学期制に移行し、教員の負担軽減と生徒にとっても学習に集中出来るよう支援していく。

今期は前期が四月一日から十月八日。後期は十月十日から三月三十一日。

一般家庭ごみ処理について

最近、池田町発表のデータでは年々リサイクル率が減少し、焼却量が増加しているが、その原因と今後の方策は。

町長

毎年、西濃環境へ出てくるごみを精査していると、他の市町の焼却量は下がって居るが、池田町は人口減少にもかかわらず焼却量は微増になって来ている。重量換算方式だが、その要因として生ごみの水分量及び、草取りの草に付着する泥の問題 又、最近は分別、選別等仕分がおろそかになり、リサイクル品、その他のごみ混入も見受けられる。

町としては、焼却量を減らしてリサイクル率を高め、資源収入増加に流れを変えて行くべく取り組んでいる。

本年度から名称が池田町環境美化推進員に変わり、各地区の公民館単位でより細かく説明する研修の場を設け、町民の皆様の御理解、御協力を得ながら取り組んでいく。

このごみの問題は、子供達にとっても環境学習にも活用してもらつとか、色々なことで学校教育とも連携をとりながらやっていく。



持ち寄り回収（役場）



八幡公民館での説明

◆リサイクル資源排出量の推移

